

セネガル共和国
母子保健強化・マラリア対策計画
(子供の福祉無償)
簡易機材案件調査報告書

平成13年1月

国際協力事業団

無償二

CR (1)

01-126

序文

日本国政府は、セネガル共和国政府の要請に基づき、同国の母子保健強化・マラリア対策計画にかかる基本設計調査を行う事を決定し、国際協力事業団が財団法人日本国際協力システムとの契約により簡易機材案件調査として実施しました。

当事業団は、平成 12 年 9 月 18 日から 10 月 13 日まで簡易機材案件調査団を現地に派遣いたしました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つ事を願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 13 年 1 月

国際協力事業団

総裁 齊藤邦彦



アフリカ位置図



セネガル共和国全体図

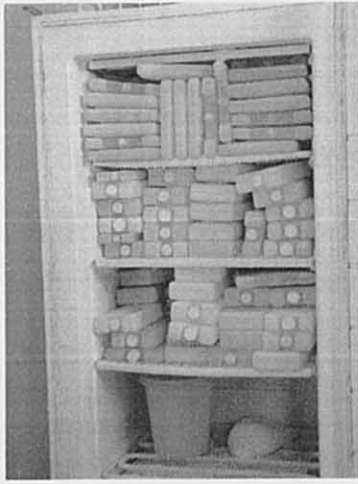


写真-1
ティエス州保健センターのアイスバック量は十分である。



写真-2
ユニセフより供与された冷蔵庫用発電機
これから設置予定。



写真-3
ティエス州保健局



写真-4
ティエス保健センター（ティエス州）



写真-5
保健委員会
保健センター内の1棟で、ここで診療、薬剤などの
チケットを売っている。



写真-6
産婦人科待合室



写真-7
検査室は、検査内容が帳簿により管理されている。



写真-8
衛生教育用絵画パネル



写真-9
ルーガ州衛生課
蚊帳の薬剤塗布、啓蒙活動などを担当している。



写真-10
サンルイ州保健局



写真-11
ラオ保健ポスト入口

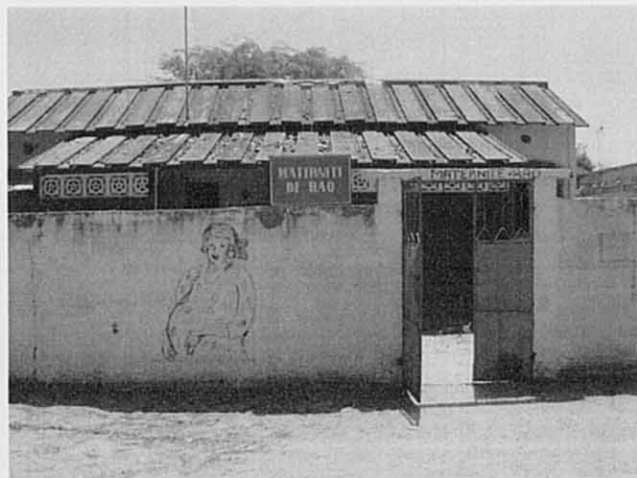


写真-12
ラオ保健ポスト (サンルイ州)



写真-13
ラオ保健ポスト薬局と診察室



写真-14
薬局内部



写真-15
サンレイ州衛生課蚊帳薬剤塗布用器材
(手袋、バケツ、薬剤等)

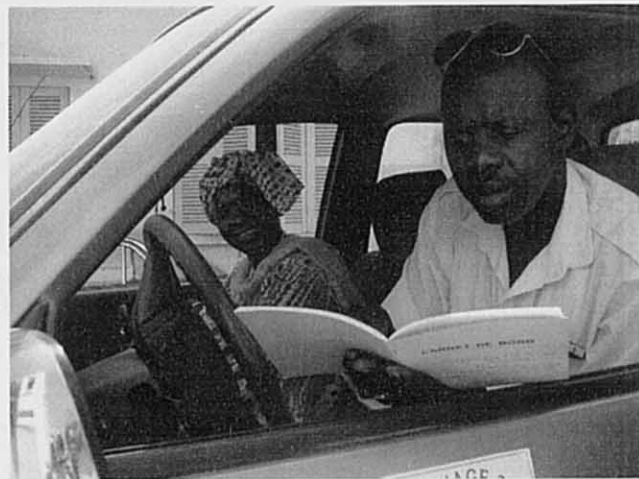


写真-16
サンレイ州の車両
車の使用は運行表により管理されている。

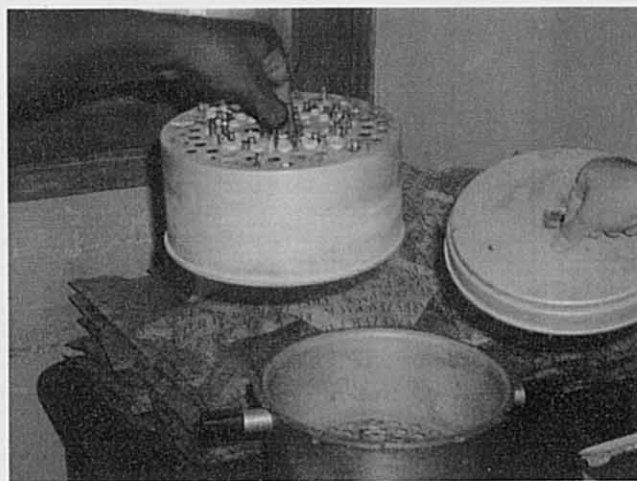


写真-17
注射針滅菌器
このタイプのもは、セネガル全国の特に保健ポストレベルで用いられている。



写真-18
注射針滅菌器をガスポンベにかけ、煮沸する。



写真-19
ティエス州重要疾病センター（ウンブール）
ティエス州、ファティック州の保健センター、保健
ポストにワクチンを供給するほか、同センター内で
近隣住民に対し予防接種を行っている。



写真-20
ファティック州保健局



写真-21
現在使用されている血圧計。使いこまれ、消耗が激
しい。



写真-22
剪刀・鉗子・膿盆類



写真-23
注射器類とそれを滅菌する塩素消毒剤



写真-24
小型冷凍冷蔵庫



写真-25
小型冷凍冷蔵庫内部

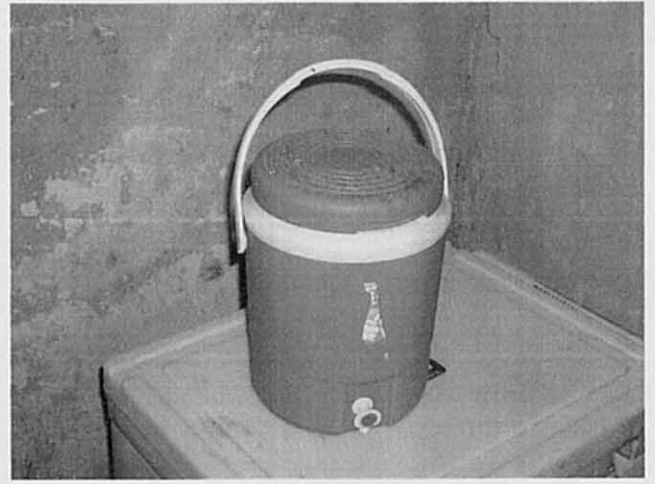


写真-26
アイスボックス



写真-27
蚊帳
サイズが小さいので使っていないもの。

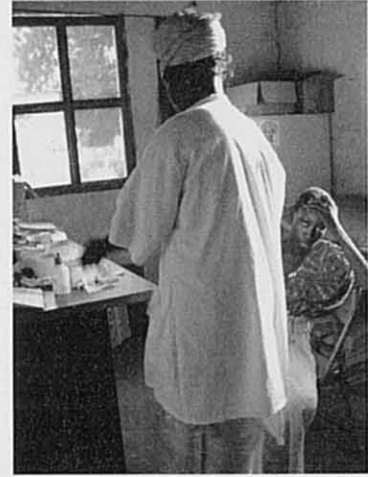


写真-28
ンベラ・カディアオ保健ポスト
処置室

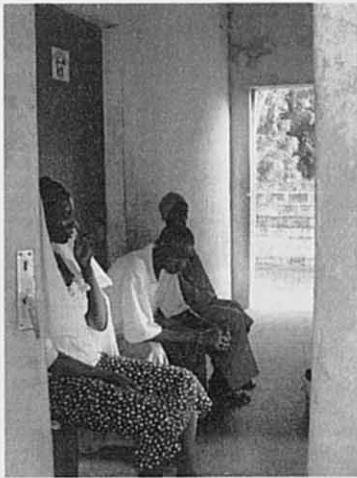


写真-29
待合室

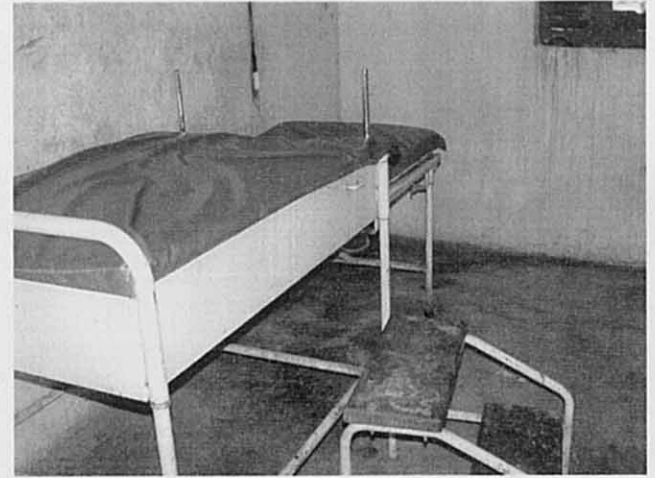


写真-30
分娩室



写真-31
井戸



写真-32
ンベラ・カディアオ保健ポスト
建物は老朽化が激しい。



写真-33
タンバクンダ保健センター入口



写真-34
木製の輸液スタンド



写真-35
通路にはアメリカの援助により教育用絵画が描かれている。



写真-36
助産婦室